

時事新報

獨逸の宰相ビスマーク侯が辭表を呈したるは一日昨日の本紙上に掲載せる所なりしが其結果として閣内けらるゝや否や我輩は讀者と共に首を延て翹望せしに昨日其筋へ通したる電報は侯の辭職はいよいよ閣内けられて陸軍大將カプリヴィ氏がその後を襲ふたりと云ふ初め侯が若輩ウラハムを輔佐龍風虎の姿を以て聯邦統一の偉業を経営したりし以來今日に至るまでの間三朝を歴任して益々獨逸の威勢を張り隠然歐洲の覇權を握りて遠近を驚愕せしめたるは誠に古今未だ絶したるものと云ふべし左れば世人は獨逸を見ずして先づビスマーク侯の偉業とありて侯の一身は以て獨逸の重きをあはたりしと然る辭表を呈して忽ち閣内けらるゝと云ふも亦た是れを尋常各國の内閣更迭に比す可らず是れも亦獨逸の國情と國體とを考へざるべしは勿論蓋し一變なきに歐洲の大勢を變遷して活劇場裏に入るゝならん疑はれども諸外國との間柄には未だ容易に異變ある可らざる最も影響の切なるものあるべしと思はるゝは德國にして千八百七十年城下の盟をなしたる當時の怨憤は生々死々遂に忘るゝ能はざる所にして殊に王黨と云ひ武將軍黨と云ひ生新黨の思を以て常々侯を圍ふに似するものとあれども今の共和政府は勉めて溫和の手段を執り續かに破裂に至らしめざるの折柄に侯辭職の報一たび達するゝ及んで國人の感情を挑發すると同時に王黨、武將軍黨は益々勢を得て一舉政府を倒し再舉戰雲を漲らすに至るやも測り知る可らず假令へ俄に此事に至らずとも共和政府の持續に困難なるは想ひ遣らるゝ次第にして世人の皆共々刮目せざるを得ざるの時機正に到來せりと知るべし

其衝に當るを避けたるものには非ざる疑も角も帝は是れより益々政權を親裁せらるゝも亦らんかれば假令へ宰相に其人を失ふもよしとすも元來獨逸の人民は不屈の精神に富みて今日までも老帝の政略にさへ抵抗を試みたるも少からざれば今帝の獨裁は漸く國會の粉塵を擲すに至るもよしと云ふ可らず帝の爲めに將來の計を案するに暫く無爲の政策を取りて隱然人望を收むるを得策あるべしと侯の辭職豈容易ならんや

宮廷録事

○御代拜 一昨二十一日皇靈並神祇御祭の節皇太后陛下御代拜は平松權典侍、皇太子殿下の御代拜は勲由小路東宮侍從が何れも奉仕したるよし
○天覽濟 一昨二十一日官幣大社權原神宮御代官幣小社波上宮御代官幣天覽濟せられたるよし
○拜謁並賞所參拜 佛國へ派遣を命ぜられたる逓信省參事官野野平太郎氏は不日出發に付昨二十二日午前十時拜謁並賞所參拜を仰付られたるよし

雜報

○ビスマーク侯の辭職閣内けらる 昨日其筋に達したる電報に據れば獨逸宰相ビスマーク侯の辭表は閣内けられて陸軍大將カプリヴィ氏(Capriotti)が其後を襲ぎ獨逸帝國の大宰相に任せられたる由は此まで既に外務大臣あるに父子共に辭表を奉りたりとノートル電報の報する所より考ふれば伯の辭職も閣内けられて假りに任命されしものならん疑何しる老翁ビスマーク侯の職を辭したるは歐洲政治社會の大事にして從て世界に大なる影響を及ぼすべしと云ふ

○獨逸新任の大宰相 ビスマーク侯は父子共に辭職を閣内けられ獨逸大宰相兼普魯西總理大臣の官職はフョンカプリヴィ將軍が新任せられたる由將軍は陸軍大將にして帝國海軍長官の職に在りしが一昨二十一年六月中其職を辭したる人なりと云ふ

○獨逸首相の辭表に就て 一昨日の橫濱フランド新聞は獨逸首相ビスマーク侯が辭表を奉りし事に就き評を下して云へる様獨逸老帝は何事も侯に委任せしゆ老帝在世中は侯の權力最大なりしと雖も老帝が人生の築業を全うし長壽を享けて崩御したる時に當り帝位を襲ぎし先帝フリードリヒ三世の政略は殆んど直接に侯の政略を反對するが如き疑ありしを以て侯の在職は久しからざるべしとの評あり而して先帝の短かき治世中一度は侯の辭職も切迫したる様子ありしも先帝不幸にして病に罹り早世せしかば侯の權力は再び盛ならんとしたれども新帝は容易に侯の意に服せざる事を現はし近來國內の政治に干渉するのみならず老帝の意見に反對して運動せんとするの情を生ぜり是を必ず侯辭職の原因あるべし吾々は侯が新帝の爲に自分の意見を斥けられ且つ自分の政略を採用せられざるを見て如何に心苦く感ずるかを推想するを得べし之に加ふるに侯は老年にして身體次第衰弱するを以て職を退かんと欲するは人情普通の事あるのみ新帝が之を許容するや否や別問題なり其筋へ達したる電報を見れば多分閣内けらるべき様態あれども新帝は獨逸に於ける勢國問題等も關し自己の意見と實行せんことを好むならんやれども帝國の外交政略に關しては何れも侯の協助するを欲するあらんや

○獨逸の政略に就て 獨逸宰相ビスマーク侯が辭表を呈したるは去月の總選挙に味方の投票少數にして事を行ふに益々困難を重ねたるが故にはあらざるか何しる選挙の結果如何あらんと注意を怠らざるは獨逸獨逸國人のみに限らず蓋し其關係する所大なればなり或ては久しく獨逸の政略を研究して其事情に明かありとの評ある或る米國新聞記者の説に曰く社會黨が撰舉の大勝利を得たるはビスマーク侯及び社會黨放逐條例あるが故なり抑も此條例は千八百七十六年始めて發布したるものにして二年の後効力を失ふ等なりしが政府の請求によりて爾後二年毎に之を新し以て今日に至れるあり左れば此條例の爲めに久しく住み馴れし鄰里を放逐されたるものは心に充分の不平等を感じつゝ所々方々に離散して彼等の日頃の志望及び不平を益々擴むるに至りしは自然の結果止むを得ざる次第なり獨逸に於ける普通人民の役目は租税を拂ふ事と兵役に従ふ事と口を閉ぢて是非の論議を思ひ止るべし是なり而して社會黨は兵役負擔を軽くせんと思望し若し彼等が政府を左右するを得ば戦争の憂なからしむべしと揚言せり兵役に就て生死の境に身を投せざる可らざるもの及び常に開戦の風説を聞いて戦々兢兢たるの社會に彼等の揚言の勢力如何に大なるかは推して知るべし尙ほ其上に職工社會に就くには若し彼等が勢力を得る時は今日の如き苦難の境を救ひ上げて労働時間を短くし報酬賃金を多からしむべしと誘ふ即ち此等の議論が今度社會黨の多數を得ざる所以なり此まで國會に坐席を占むるの數僅かに十一ありしかども今回の勝利より三十五人に増加しあらゆる委員會に加入するを得るに至れり依て思ふに退ては放逐條例も廢止するゝに至るべく彼等が公然と其黨を結ぶの自由を得るに至るべく其黨の綱領として實施に近づかしむるの機會を得るゝならんかビスマーク侯若くは皇帝は多少舊政徒の黨派に讓與する所ありて以て多數を制するを得べけれども併し此等は在朝黨の利益にあらざる又帝は國會を解散するを得べけれども解散後撰舉の結果如何をも前以て想像せざるべからざるに獨逸は追々責任内閣の方を歩を進めて皇帝の權力は次第に減少するゝならんや

○有栖川宮總長官の出發 同殿下は昨二十二日午前六時十分新橋發第一列車にて演習地名古屋へ向け出發せられたり隨行員は陸軍歩兵中佐上領順方、同少佐野崎丹藏、陸軍一等軍吏跡部貴直、陸軍教授横井忠直、陸軍歩兵大尉菊池節藏、同中尉瀬川涉其他の諸氏なりと云ふ

○御料馬車の回送 名古屋及び京都へ行幸啓に付ては御料の馬車三輛を箱詰として昨廿二日該地へ向け回送し又主馬寮技師六名は先着として同日出發したりと
○大演習地の寫眞 今度愛知縣下に於て施行する陸海軍大演習地の模樣を寫眞と取りて廣く賣捌く見込にて九段坂の寫眞師鈴木一貞氏は名古屋なる其支店へ向け出張する等ありと
○供奉の女官 皇后陛下が京都へ行啓に在らせらるゝに付ては香川同大夫を始め夫々供奉を命ぜられしが女官にては高倉典侍、柳原、小倉の兩權典侍、樹下掌侍、小池

○獨逸の政略に就て 獨逸宰相ビスマーク侯が辭表を呈したるは去月の總選挙に味方の投票少數にして事を行ふに益々困難を重ねたるが故にはあらざるか何しる選挙の結果如何あらんと注意を怠らざるは獨逸獨逸國人のみに限らず蓋し其關係する所大なればなり或ては久しく獨逸の政略を研究して其事情に明かありとの評ある或る米國新聞記者の説に曰く社會黨が撰舉の大勝利を得たるはビスマーク侯及び社會黨放逐條例あるが故なり抑も此條例は千八百七十六年始めて發布したるものにして二年の後効力を失ふ等なりしが政府の請求によりて爾後二年毎に之を新し以て今日に至れるあり左れば此條例の爲めに久しく住み馴れし鄰里を放逐されたるものは心に充分の不平等を感じつゝ所々方々に離散して彼等の日頃の志望及び不平を益々擴むるに至りしは自然の結果止むを得ざる次第なり獨逸に於ける普通人民の役目は租税を拂ふ事と兵役に従ふ事と口を閉ぢて是非の論議を思ひ止るべし是なり而して社會黨は兵役負擔を軽くせんと思望し若し彼等が政府を左右するを得ば戦争の憂なからしむべしと揚言せり兵役に就て生死の境に身を投せざる可らざるもの及び常に開戦の風説を聞いて戦々兢兢たるの社會に彼等の揚言の勢力如何に大なるかは推して知るべし尙ほ其上に職工社會に就くには若し彼等が勢力を得る時は今日の如き苦難の境を救ひ上げて労働時間を短くし報酬賃金を多からしむべしと誘ふ即ち此等の議論が今度社會黨の多數を得ざる所以なり此まで國會に坐席を占むるの數僅かに十一ありしかども今回の勝利より三十五人に増加しあらゆる委員會に加入するを得るに至れり依て思ふに退ては放逐條例も廢止するゝに至るべく彼等が公然と其黨を結ぶの自由を得るに至るべく其黨の綱領として實施に近づかしむるの機會を得るゝならんかビスマーク侯若くは皇帝は多少舊政徒の黨派に讓與する所ありて以て多數を制するを得べけれども併し此等は在朝黨の利益にあらざる又帝は國會を解散するを得べけれども解散後撰舉の結果如何をも前以て想像せざるべからざるに獨逸は追々責任内閣の方を歩を進めて皇帝の權力は次第に減少するゝならんや

○北嶋の三權掌侍、兩權命婦等が仰付らる
○演習と金器章 今度愛知縣下に於て施行する陸海軍大演習地の模樣を寫眞と取りて廣く賣捌く見込にて九段坂の寫眞師鈴木一貞氏は名古屋なる其支店へ向け出張する等ありと
○供奉の女官 皇后陛下が京都へ行啓に在らせらるゝに付ては香川同大夫を始め夫々供奉を命ぜられしが女官にては高倉典侍、柳原、小倉の兩權典侍、樹下掌侍、小池

FUJIMICRO SAFETY

○有栖川宮總長官の出發 同殿下は昨二十二日午前六時十分新橋發第一列車にて演習地名古屋へ向け出發せられたり隨行員は陸軍歩兵中佐上領順方、同少佐野崎丹藏、陸軍一等軍吏跡部貴直、陸軍教授横井忠直、陸軍歩兵大尉菊池節藏、同中尉瀬川涉其他の諸氏なりと云ふ